

平成28年12月亀岡市議会定例会一般質問

亀岡市議会

平成28年12月亀岡市議会定例会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者			質問方式	
12月13日(火)	10:00～	個人	1	山本由美子	一問一答	
	10:45～		2	奥村 泰幸	一問一答	
	11:30～		3	馬場 隆	一問一答	
			休憩			
	13:15～		4	明田 昭	一問一答	
	14:00～		5	富谷加都子	一問一答	
	14:45～		6	石野 善司	一問一答	
12月14日(水)	10:00～	個人	7	三上 泉	一問一答	
	10:45～		8	平本 英久	一問一答	
	11:30～		9	藤本 弘	一問一答	
			休憩			
	13:15～		10	奥野 正三	一問一答	
	14:00～		11	田中 豊	一問一答	
			休憩			
	15:00～		12	木曾 利廣	一問一答	
15:45～	13	小川 克己	一問一答			
12月15日(木)	10:00～	個人	14	並河 愛子	一問一答	
	10:45～		15	竹田 幸生	一問一答	
	11:30～		16	小島 義秀	一問一答	
			休憩			
	13:15～		17	菱田 光紀	一問一答	
	14:00～		18	齊藤 一義	一問一答	
			休憩			
	15:00～		19	酒井安紀子	一問一答	
15:45～	20	湊 泰孝	一問一答			

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

		<p>3 ひとり親家庭に対する支援について</p>	<p>命(いのち)のがん教育推進プロジェクト事業」を活用し、平成26年度から実施されているが、取組みの現状と成果は。</p> <p>(4)健康ポイント制度を導入する考えは。</p> <p>経済的に厳しい状況に置かれたひとり親家庭等が増加傾向にあり、自立支援の充実が課題となっている。そのため、政府は平成27年12月21日に、「子ども貧困対策会議」において、「すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクト」を取りまとめ、その中には、「ひとり親家庭・多子世帯等の自立応援」の推進が掲げられている。</p> <p>(1)プロジェクトでは自治体窓口のワンストップ化の推進が求められている。本市相談窓口の現状と、より一層の相談窓口の充実に向けての取組みは。</p> <p>(2)国、府、本市で取り組んでいる、ひとり親家庭の方が利用できる主な事業を一覧にした案内(冊子)の作成、及びホームページに掲載する考えは。</p> <p>(3)毎年8月の児童扶養手当の現況届の受付体制はどのようになっているのか。(休日、時間延長による受付など)</p> <p>(4)毎年8月の児童扶養手当の現況届の時期に「集中相談期間」を設定し、様々な課題をまとめて相談できる体制を整備する考えは。</p> <p>(5)放課後児童会終了後に生活習慣の習得・学習支援、食事の提供等を行うことが可能な居場所づくりが求められているが、本市の現状とこの取組みについての見解は。</p> <p>(6)3月定例会で準要保護に支給される就学援助の新入学児童生徒学用品費について、入学前に前倒しできないかと質問したが、進捗状況は。</p> <p>(7)本市は「子どもの未来を応援する首長連合」に加盟している。子どもが抱えている様々な課題に対応するための具体的な取組みや考えは。(効果的な支援につなげるための実態調査など)</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 学校給食の公会計化について</p>	<p>給食費の会計については、一般会計等で予算化される公会計方式と、学校長等の責任により管理する私会計方式の2つの方式が採用されている。どちらの方式を採用するかは、その実情に応じて各市町村に委ねられているが、本年6月、文科省からの通知「学校現場における業務の適正化に向けて」の中に、「学校給食費などの学校徴収金会計業務の負担から教員を解放する」などが挙げられている。</p> <p>(1)学校給食費の徴収状況は。</p> <p>(2)未収金が発生した時の対応は。</p> <p>(3)公会計化への移行についての考えは。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>3 有害鳥獣対策について</p> <p>野生鳥獣による農作物等への被害は年々拡大している。大型獣が原因の交通事故の発生、さらにはイノシシや熊が人を襲い人命が奪われる事件も発生している中で、大型獣の対策について問う。</p> <p>(1) 亀岡市で大型獣に係る交通事故等は発生しているか。</p> <p>(2) 昨年の大型獣の捕獲状況は。</p> <p>(3) 現在、亀岡市が行っている対策の内容は。</p> <p>(4) 対策を担当しているスタッフの人数は。</p> <p>(5) 京都府の野生鳥獣被害対策チームは、どのような対策をしているのか。</p> <p>(6) 農作物を被害から守る防護柵の資材等の支援(補助)は行われているが、農家の自主防除が基本となっている。人口減少と高齢化が進む山間部では、自主防除できなくなることが予想されるが、その対策は。</p> <p>(7) 京都府の事業で、狩猟期間中であっても捕獲報奨金があると聞くが、その内容は。</p> <p>(8) 被害対策に取り組んでいただく担い手の確保が必要と考えるが、その対策は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 市道湯ノ花5号線について</p> <p>市道湯ノ花5号線について問う。</p> <p>(1) 亀岡市住宅公社が所有していた土地(市道湯ノ花5号線内)の売却についてその経緯を説明されたい。</p> <p>(2) 当時、栗山市長は住宅公社の立場で注意義務を怠っていたと認められ、市長の立場として住宅公社に善処するよう厳しく指導すると答弁されているが、その後の経過は。</p> <p>(3) 住宅公社が整理された後、市として解決に向けどう対処したか。</p> <p>(4) 売却する際に、住宅公社は処分する土地について関係する部課に照会したと思うが、道路管理担当課には照会がなかったのか。</p> <p>(5) 照会があったならば、住宅公社のミスというよりは亀岡市のミスであると思われる。照会時に当該土地は市道であると回答していれば住宅公社から亀岡市に帰属による所有権移転ができていたと考えるが、このことについての所見は。</p> <p>(6) 解決策はあるのか。</p> <p>(7) 市道認定している民地の買収は原則していないが、亀岡市として買い戻すべきと考える。所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
3	<p>馬場 隆 12月13日(火) 11:30~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 亀岡駅北開発問題について</p> <p>京都スタジアム(仮称)建設計画の市民説明会が去る11月22日、亀岡市によってはじめて行われた。説明会では、市長あいさつが約20分、担当部局説明が約30分と大半を費やし、市民からの質疑に移った。</p> <p>質問の大半は、各報道機関が伝えるように、水害が起きやすくなることを懸念する声、費用対効</p>	<p>市長</p>

		<p>果を疑問視する声が続出した。</p> <p>(1) 市から説明されなかった問題について 市長あいさつは何を意図したものが。 前市政が検討した「亀岡駅北土地区画整理事業用地」の経過報告がなかったのではない か。 「スタジアム配置の検討経過」の説明がな かったのではないか。</p> <p>(2) 「水害常襲地の開発は亀岡市内一円の被害 拡大を招く」の指摘に、治水上の安全を説得 できるなら合理的な説明がなかったの ではないか。</p> <p>(3) 環境問題での所見について 「近接地に公園を配置するから、スタジアム 標準を満たす」旨の答弁は成り立つのか。 騒音 (dB) はどう低減するのか。 輝度 (cd) はどう緩和されるのか。 同用地は、「アコモドキ保全を要する地域」 と環境大臣が意見しているが、保全の方策 は。 亀岡駅北土地区画整理事業用地での地下水 源影響調査はなされたのか。 地下水脈を寸断しない建築物の構造・設置・ 施工は可能なのか。</p> <p>(4) 公募型プロポーザル方式による実施設計に ついて 基本設計は、どの時点が基本設計基準となる のか。また、設計業者はどこか。 「一部修正基本設計業務」とは何か。 実施設計方針の策定で、「旧予定地で考慮し た治水対策は不要」の意味は何か。</p> <p>2 公共施設の あり方について</p> <p>厚生会館に続いて亀岡会館が休館し、本年3月 には中央公民館も休館となった。市長は「ガレ リアかめおか」の使用実績等をあげ、起債償還に長 期を要するガレリア建設に批判的な当時の市民 世論に、「ガレリアはレガシィとして生きている」 旨の発言を行った。これは、使えなくなった亀岡 会館など、市民生活に直結する公の施設への使用 要望に対し、居直る形での発言に他ならない。今、 本市行政として求められるのは、使えなくなった 施設を一刻も早く市民のために使える施設にす るのが責務であると考え。</p> <p>(1) 厚生会館、亀岡会館及び中央公民館の再開 の基本方針を問う。</p> <p>(2) 公共施設等総合管理計画に関わって、将来 展望を問う。</p>	市長 所管部長	
4	明田 昭 12月13日(火) 13:15～ 一問一答	1 墓地の管理 について	<p>近年、葬儀に関する情報がテレビや雑誌、イン ターネットなどでも多く取上げられるように なった。葬儀は人間にとって避けることのでき ないものであり、正しく理解が進めば喜ばしいこと である。</p>	市長 所管部長

		<p>2 道の駅の状況について</p>	<p>しかし、伝わる情報が正確さを欠いている事が見受けられる。今では大手の葬儀業界が葬儀に関してそのほとんどを取扱っていると思うが、その実態をつかむことは困難である。葬儀から埋葬までの行為については、発生する事情や地域風俗等により異なるが、普遍性がないものまでもが常識とされていることも少なくない。</p> <p>そこで下矢田町小石地区にある墓地と周辺自治会との関係、「墓地、埋葬等に関する法律」について、再確認を含めて問う。</p> <p>(1)「墓地、埋葬等に関する法律」は何を目的としているのか。</p> <p>(2)埋葬とはどのような行為のことをいうのか。</p> <p>(3)墳墓とは、何を指すのか。</p> <p>(4)墓地の事業主体は官民を問わないのか。</p> <p>(5)亀岡市に墓地は何カ所あるのか。</p> <p>(6)現存する墓地の管理状況を市は把握しているのか。(寺院の敷地内、利用者で管理する集落等内、営業を目的とした墓地業者地内)</p> <p>(7)鳥獣被害が多く発生し、墓地はもちろんのこと、隣接する自治会住民が危険な状況を感じられているが対策は。</p> <p>(8)墓地内の南端に六地藏尊が祀られているが、その理由は。</p> <p>平成27年7月18日の京丹波わちIC～丹波ICの開通をもって京都縦貫自動車道が全線開通となり、長年の悲願が達成された。「海の京都」の関係自治体は言うに及ばず、私たちにも関わりが深く、地域の発展に寄与するものとして大きな期待を寄せているところである。その後、今年の10月30日に山陰近畿自動車道野田川大宮道路ともつながり、京都府北部地域について振興の拡大が期待されている。京都縦貫自動車道全線開通以降1年4カ月の時を経て、効果の検証が道の駅を例に報道されていた。報道によれば、高速道路と一体の道の駅は、開通当時のにぎわいはないものの、安定した集客をしていると報じられていた。それに対して国道沿いの従来の道の駅については、集客が3割の減少となり大変厳しい状況にあると報じられていた。報道はされていなかったが、亀岡市唯一の道の駅であるガレリアかめおかについて伺う。</p> <p>(1)京都縦貫自動車道全線開通以降の利用状況について問う。</p> <p>(2)ガレリアかめおかの大規模改修が行われるようであるが、道の駅として今まで以上に利用拡大を図る考えは。</p>	<p>所管部長</p>
		<p>3 道路の改修について</p>	<p>「歴史的町並みと個性あるまちづくり」を掲げて平成7年から亀岡地区中部・東部で町並み舗装が実施されてから、はや20年が過ぎている。こ</p>	<p>所管部長</p>

		<p>の間、大改修が一度行われていると思うが、傷みの程度のひどい街路が見受けられる。改修計画について伺う。</p> <p>(1) 本町通りの改修予定はいつになるのか。</p> <p>(2) 京町で街灯が事故により倒れたが、その後の経過は。</p> <p>(3) 鉾町には京町と同じタイプのものが数多く立っているが、安全性についての調査確認をしたのか。また、その結果は。</p>	<p>の間、大改修が一度行われていると思うが、傷みの程度のひどい街路が見受けられる。改修計画について伺う。</p> <p>(1) 本町通りの改修予定はいつになるのか。</p> <p>(2) 京町で街灯が事故により倒れたが、その後の経過は。</p> <p>(3) 鉾町には京町と同じタイプのものが数多く立っているが、安全性についての調査確認をしたのか。また、その結果は。</p> <p>亀岡地区にあった施設について、亀岡市の歴史とともに市民に愛され、利用されてきた。駅北開発の足音も聞こえる今日、駅南地区もともに発展し、今まで以上にぎわいをもたらさなければならぬ。</p> <p>そのためにはまず、亀岡会館、中央公民館、文化資料館について、より一層利用価値を高めるものが必要と考える。このような観点から3つの施設について問う。</p> <p>(1) 亀岡会館について、今後の見通しは。</p> <p>(2) 中央公民館について、今後の見通しは。</p> <p>(3) 文化資料館について、今後の見通しは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 公共施設について</p> <p>5 文化財について</p>	<p>文化庁は2016年12月1日「山・鉾・屋台行事」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことを発表した。これを受けての内閣総理大臣メッセージは次のとおりである。「きらびやかな装飾をほどこした、創意あふれる華やかな山・鉾・屋台の巡行。それは、災いを払い、地域の安泰を願う人々の祈りです。本日、ユネスコ無形文化遺産に「山・鉾・屋台行事」が登録されました。心から嬉しく思います。日本全国33の祭、幾世代にもわたり地域で受け継いできた「山・鉾・屋台行事」を、誇りを持って後世へと継承し、国内外に発信していきたいと思います。平成28年12月1日 内閣総理大臣 安倍晋三」これは、国はもとより当事者をはじめ関係する市民も嬉しい限りであり、誇りに感じるどころである。今回の経過について伺う。</p> <p>(1) 亀岡祭(鍬山神社秋季大祭)、出雲大神宮の出雲風流花踊り、佐伯灯籠の人形浄瑠璃が登録されなかった経過は。</p> <p>(2) 今後は登録のチャンスがあるのか。</p> <p>(3) 北町にある、国の登録有形文化財、京都府の登録文化財である施設が来年早々にも閉鎖されると聞いているが事実関係は。</p> <p>(4) 閉鎖が事実であれば、文化財保護の観点からどのようなことが考えられるのか。</p> <p>今年の亀岡祭は天候に恵まれ、関係する一人として喜んでいるところである。24日の宵宮に全鉾町を見学に戻っているが、鉾町により残念ながらにぎわいに差が見受けられる。このことは既に気付かれていると思うが、京町天満宮のように宵</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>

			宮の祭典の移動を検討してはどうかと考える。 (5)三宅町翁山のにぎわいの創出についての所見は。	
5	富谷加都子 12月13日(火) 14:00~ 一問一答	1 婚活支援拡充について	婚活支援の拡充について、政府は「未婚化・晩婚化の流れは年々高まっており、総力挙げて取り組まなくてはならない」として、予算や税制面などで支援拡充策に取り組んでいる。来年度予算概算要求にも同補助金6.1億円が盛り込まれている。本市として、交付金や補助金を確保する等、さらなる婚活支援を望む。今後の取組みについて、以下の点について問う。 (1)親世代の婚活支援の要望を多く聞くが、市の認識はどうか。 (2)現行の後方支援を、今後拡充する考えはどうか。 (3)若者世代への取組みとして、他市で「30歳の成人式」が実施されている。郷土愛を育む機会と認識する。婚活支援を通じて、市政への関わりを深め本市の魅力を発見する機会になりうると考える。本市として婚活を通じて若者世代が市政への思いを醸成する取組みとする考えはあるか。	市長 所管部長
		2 民生委員の負担軽減について	本年、3年任期の民生委員が一斉に改選された。地域を支える重責を受けていただく方々であるが、近年の高齢化によりその負担は増す一方で、成り手不足が課題である。民生委員の活動支援や負担軽減の対策を問う。 (1)民生委員の一人あたりの担当世帯数は。 (2)地域になくってはならない民生委員の確保に向け、どのように尽力しているのか。 (3)成り手不足の要因を市としてどのように認識しているのか。 (4)民生委員の負担軽減のための仕組みが必要と考えるが市としての考えは。	所管部長
		3 介護予防・日常生活支援総合事業について	来年4月1日から、介護予防・日常生活支援総合事業が段階的に実施される。新しい総合事業が多くの担い手を生み、支え合いのまちづくりに拍車をかけ、より高齢者の安心につながることを期待する。事業実施に向け具体的な内容を問う。 (1)介護予防給付事業から、新たに拡大したサービスは何か。 (2)実施にあたり、多くの市民、NPO等各種団体、事業所、企業等から多くの意見を抽出した。共通した意見とは何か。 (3)その意見から素案に具体的に反映したことは何か。 (4)一般介護予防事業で拡大した取組みはあるか。 (5)今回、共生型サービスの導入はあるのか。 (6)素案において、サービス単価設定の考え方	所管部長

		4 不登校対策について	<p>は。</p> <p>(7)協議体・生活支援コーディネーターの配置状況は。</p> <p>(8)今後のスケジュールは。</p> <p>教育の原点は子どもたちの幸福である。しかし、教育現場において、全国的に不登校の問題は増える現状である。本市の現状と対策を問う。</p> <p>(1)本市の小中学校の不登校児童、生徒の現状と推移は。</p> <p>(2)不登校になる前の支援が大事と考えるが本市としての取組みは。</p> <p>(3)亀岡市は、他市に誇れる適応指導教室ともいえる教育研究所を設置している。十分に活用できているか。</p> <p>(4)小学生の不登校児童の保護者の方から、送迎できないので利用できないとの声を聞く。改善できることはあるか。</p>	所管部長
6	石野 善司 12月13日(火) 14:45～ 一問一答	1 NHK大河ドラマ誘致について	<p>平成23年4月から、府内近隣市町でNHK大河ドラマ誘致推進協議会を立ち上げて取り組まれているところである。現在、放送中のNHK大河ドラマ「真田丸」は12月18日の放送が最終回であり、来年1月8日からは「おんな城主直虎」がスタートする。また、2018年の放送は、西郷隆盛の生涯を描く「西郷どん」と決定し、その後の2019年は、1964年の東京オリンピックを題材としたドラマが考えられているようである。</p> <p>(1)現在の取組状況は。</p> <p>(2)今後の具現性は。</p>	市長 所管部長
		2 都市計画道路馬堀停車場篠線について	<p>未整備区間は第1工区の終結点の府道王子並河線から国道9号の篠インターに通じるアクセス道路までの約550メートル間となっている。現在、進捗中の事業計画箇所である第2工区は、国道9号からマツモト馬堀店手前の420メートル間であり、拡幅される道路上の家屋については、一部、除却された箇所もある。</p> <p>(1)現在の進捗状況は。</p> <p>(2)今後の見通しは。</p>	市長 所管部長
		3 市道城山医王谷中山線拡幅計画について	<p>平成4年度から概略の調査が始まり、これまでに詳細測量、構造協議、境界確定作業を進めてこられたところであるが、その後、相当の期間が経過している。</p> <p>(1)城山医王谷中山線の現在の取組状況は。</p> <p>(2)今後の事業見通しは。</p>	市長 所管部長
7	三上 泉 12月14日(水) 10:00～	1 核兵器廃絶に向けた亀岡市の姿勢について	<p>亀岡市は平成22年6月に「世界連邦・非核平和都市」を宣言している。その中で、あらゆるいのちの営みを一瞬のうちに奪ってしまう核兵器の廃絶を求めている。</p>	市長 所管部長

<p>一問一答</p>	<p>2 市内スポーツ施設の充実、子どもの遊び場の確保について</p> <p>3 中学校給食について</p> <p>4 学校規模適正化について</p>	<p>(1)世界連邦・非核平和都市として、取組んでいることは何か。</p> <p>(2)このたび国連総会第1委員会で、「核兵器禁止条約制定の交渉開始を求める決議」が採択された。しかし、日本は米国の圧力に屈し反対した。世界連邦・非核平和都市の市長としての見解は。</p> <p>(3)日本政府に対して、抗議なり、要請・要望を速やかにすべきではないか。</p> <p>市民が利用できるスポーツ施設を要望する声は大きい。また、昨年夏の「亀岡市議会子ども議会」では多くの小学生議員が「ボールを使って遊べる公園や場所がほしい。」という思いで質問した。特に、人口密集地域では、こういった場所が少なく、子どもたちは、家の前の道路などでボールを使って遊んでいたりと、部活の自主練習をしたりしているのをよく見かける。</p> <p>(1)子どもがボールなどを使って思いっきり遊べる場所が少ないのではないか。</p> <p>(2)子どもの遊び場、公園や運動場等の数・面積は、地域によって格差があるのではないか。</p> <p>(3)スタジアムより、こういった場を増やす施策を優先させるべきではないか。</p> <p>11月4日に中学校給食についての提言がなされた。</p> <p>(1)学校給食の意義について改めて問う。</p> <p>(2)学校給食法や食育基本法に照らした中学校給食の意義は何か。</p> <p>(3)亀岡市が教育の一環としての中学校給食について、市民に啓発を図り、一刻も早い学校給食法に基づく給食の実施を求めるが、その見通しは。</p> <p>この間、2つの地域でブロック協議会が開催され、その場で、またその後の各説明会で様々な意見や要望が出されている。</p> <p>(1)ブロック協議会や、各種団体への説明会などで出された意見、それに伴う見直しや変更すべき点は何か。</p> <p>(2)今回提起されている別院中ブロック及び東輝・詳徳中ブロックの施策について、平成30年度から実施しなければならない根拠がないことは、総務文教常任委員会で明らかにされたが、そのことの確認を求める。</p> <p>(3)住民・保護者の合意がきちんと得られていない中での変更は、後々禍根を残すことになる。この間の経緯を踏まえて、結論・時限ありきの姿勢を改めるべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
-------------	---	--	--

8	<p>平本 英久 12月14日(水) 10:45～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 有害鳥獣の被害対策について</p> <p>2 安全・安心のまちづくりについて</p> <p>3 子育て環境の整備について</p> <p>4 空き家対策について</p>	<p>有害鳥獣による農作物への被害対策について問う。</p> <p>(1)有害鳥獣による農作物への被害が広域化しつつあると聞くが状況はどうか。</p> <p>(2)猟友会の協力による有害鳥獣駆除のほか、どのような対策がなされているか。</p> <p>(3)電気柵や防獣ネットなどの整備に向けた支援や補助はどのようになっているのか。</p> <p>(4)今後新たな方策や対策は検討しているのか。</p> <p>安全・安心のまちづくりをめざす本市において防犯推進への取組みについて問う。</p> <p>(1)夜間、住民の通行の安全確保のため、設置されている街路灯・防犯灯のLED化についての進捗はどうか。</p> <p>(2)地域から申請があったLEDへの交換についての3カ年計画は予算削減により今後どのように進むのか。</p> <p>(3)児童の通学路の安全確保のため、防犯街路灯の新設や増設などが求められているが、進捗と見通しはどうか。</p> <p>子育て世代が安心して働ける保育環境の整備と拡充について問う。</p> <p>(1)本市においても増加傾向にある待機児童及び潜在的待機児童解消に向けての取組みと進捗はどうか。</p> <p>(2)保育士の業務量軽減に効果が見込まれるICT化の進捗はどうか。</p> <p>(3)今後の公立保育所のあり方についてどのように考えているのか。</p> <p>「空家等対策の推進に関する特別措置法」関連の取組みについて問う。</p> <p>(1)本市において設置された空き家バンク事業の進捗はどうか。</p> <p>(2)空き家バンクの円滑な事業推進に向けての課題はあるのか。</p> <p>(3)空き家の利活用以外の移住・定住促進について対策は検討しているのか。</p> <p>(4)空家等対策計画の策定のため、協議会設置の進捗と今後の見通しはどうか。</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
9	<p>藤本 弘 12月14日(水) 11:30～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 ふるさと納税1億円を目指す政策について</p>	<p>亀岡市においては、平成26年度のふるさと納税・寄附額が1年間で334万9千円、昨年の平成27年度では1876万2千円と大きく伸びてきている。今年度は1億円を目指している。</p> <p>(1)12月現在の寄附額は、どのようになっているか。</p> <p>(2)他市と比較し、何か工夫されていることはあるか。</p> <p>(3)市ホームページでは、ふるさと納税・寄附</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>金がどのような事業に使われたのか公表されているが、寄附者にはお礼やどのような事業に活用したかの報告をしているのか。</p> <p>(4)返礼品も13品目から153品目と大変充実してきているが、高島屋では153品目、楽天では46品目と差がある。なぜ、このような差があるのか。</p> <p>(5)市ホームページの中に「ふるさと納税ワンストップ特例制度」とあるが、どのような制度か。</p> <p>(6)亀岡市における「企業版ふるさと納税」については、どのように取組んでいるか。</p> <p>(7)ふるさと納税1億円を目指す事業は、市長公約の一つでもあるが、今後の取り組みについてはどのように考えるか。</p>	<p>金がどのような事業に使われたのか公表されているが、寄附者にはお礼やどのような事業に活用したかの報告をしているのか。</p> <p>(4)返礼品も13品目から153品目と大変充実してきているが、高島屋では153品目、楽天では46品目と差がある。なぜ、このような差があるのか。</p> <p>(5)市ホームページの中に「ふるさと納税ワンストップ特例制度」とあるが、どのような制度か。</p> <p>(6)亀岡市における「企業版ふるさと納税」については、どのように取組んでいるか。</p> <p>(7)ふるさと納税1億円を目指す事業は、市長公約の一つでもあるが、今後の取り組みについてはどのように考えるか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 鳥インフルエンザ対策について</p>	<p>本年1月28日、新潟県の養鶏場、青森県の家禽農場でそれぞれ鳥インフルエンザウイルスが確認され、食用鶏、食用アヒル合わせて約57万羽の殺処分が行われた。平成16年には京丹波町でも感染が発生し、約24万羽を殺処分しているだけに、不安は拭えない。</p> <p>(1)亀岡市には、どれ位の養鶏農家が存在するのか。</p> <p>(2)亀岡市は、それらの農家にどのような対策をしているのか。</p> <p>(3)亀岡市の鳥インフルエンザ対策は万全か。</p>	<p>本年1月28日、新潟県の養鶏場、青森県の家禽農場でそれぞれ鳥インフルエンザウイルスが確認され、食用鶏、食用アヒル合わせて約57万羽の殺処分が行われた。平成16年には京丹波町でも感染が発生し、約24万羽を殺処分しているだけに、不安は拭えない。</p> <p>(1)亀岡市には、どれ位の養鶏農家が存在するのか。</p> <p>(2)亀岡市は、それらの農家にどのような対策をしているのか。</p> <p>(3)亀岡市の鳥インフルエンザ対策は万全か。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>3 JR亀岡駅南側の整備再開について</p>	<p>現在、JR亀岡駅北の開発整備事業は、京都府のサッカースタジアムの建設推進とともに着々と進められているが、今後、駅南側の再開整備も急がれる。</p> <p>(1)仮称「JR亀岡駅南側再開整備計画」のようなものは、策定されているのか。</p> <p>(2)駅前の商店街、クニッテル通りの電線類地中化、無電柱化については、どのように考えるか。</p> <p>(3)亀岡駅南側の再開とホテルの誘致等については、何か取組んでいるのか。</p> <p>(4)亀岡駅南側を中心とした、若者が集まり、高齢者も安心して暮らせる、コンパクトシティ形成の考えはあるか。</p> <p>(5)亀岡駅南側に、明智光秀像を設置することについては、どのように考えるか。</p>	<p>現在、JR亀岡駅北の開発整備事業は、京都府のサッカースタジアムの建設推進とともに着々と進められているが、今後、駅南側の再開整備も急がれる。</p> <p>(1)仮称「JR亀岡駅南側再開整備計画」のようなものは、策定されているのか。</p> <p>(2)駅前の商店街、クニッテル通りの電線類地中化、無電柱化については、どのように考えるか。</p> <p>(3)亀岡駅南側の再開とホテルの誘致等については、何か取組んでいるのか。</p> <p>(4)亀岡駅南側を中心とした、若者が集まり、高齢者も安心して暮らせる、コンパクトシティ形成の考えはあるか。</p> <p>(5)亀岡駅南側に、明智光秀像を設置することについては、どのように考えるか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 学校施設の整備について</p>	<p>学校施設(トイレ、エアコン)の整備について問う。</p> <p>(1)小・中学校のトイレの洋式化について小学校18校中、3校のトイレが洋式化されると聞くが、対象校はどこか。</p> <p>本市における小・中学校のトイレ洋式化率は、35.8%と聞くが、すでに洋式化になっている学校はどこか。</p>	<p>学校施設(トイレ、エアコン)の整備について問う。</p> <p>(1)小・中学校のトイレの洋式化について小学校18校中、3校のトイレが洋式化されると聞くが、対象校はどこか。</p> <p>本市における小・中学校のトイレ洋式化率は、35.8%と聞くが、すでに洋式化になっている学校はどこか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>5 中学校給食について</p>	<p>整備手法として、トイレの全面改修により全て洋式化するのか、または一部洋式化とするのか。また、便器だけを付け替える方式か。今後の小・中学校のトイレの洋式化については、どのように考えるか。</p> <p>(2) 小・中学校へのエアコン設置について</p> <p>まずは中学校8校中、5校に設置と聞くと、対象校はどこか。</p> <p>5校同時に設置になるのか、順番があるのか。</p> <p>エアコンは全教室につくのか、一部だけか。高田中学校については、小中一貫校として新たにエアコンが導入されていると聞くと、あとの2校については今後どのように考えるか。</p> <p>小学校のエアコン設置の推進については、どのように考えるか。</p> <p>本市中学校での給食導入について、検討委員会により全8校の生徒・教職員・保護者を対象にアンケート調査が実施され、9月13日の新聞紙上では、教員は反対が88.7%、生徒は反対が65.5%、保護者は賛成が83.8%と発表があった。このアンケートを踏まえ、11月4日、検討委員会から、家庭からの持込みと業者への発注を選べる「選択制の弁当方式」が望ましいとの提言書が市教育委員会に提出された。</p> <p>小中学校における義務教育の基本は、だれでも学べる教科書の無償化と親の収入に関係なく、平等に受けられる食育の実施と考える。</p> <p>(1) 市は今後、市民から意見を募り、年明けにも基本方針を決めるとしているが、教育長の考えは。</p>	<p>教育長</p>
10	<p>奥野 正三 12月14日(水) 13:15~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 観光施策について</p> <p>2 まちづくりについて</p>	<p>本市には観光拠点多くあるが、それぞれがうまく生かされていないように思う。より多くの観光客を呼び込むには、今以上の対策が必要と考える。</p> <p>(1) トロッコ亀岡駅からJR馬堀駅及びJR亀岡駅に常時観光客を運ぶことができる交通手段が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 各観光拠点への標識の整備が不十分と考えるがどうか。</p> <p>(3) 観光レンタサイクルの利用状況は。</p> <p>(4) JR京都駅とJR園部駅の間をSLを走らせる考えについてはどうか。</p> <p>7月19日に開催された本梅町地域こん談会と10月29日に開催した本梅町での「わがまちトーク」を踏まえ、今後のまちづくりについて問う。</p> <p>(1) 国道477号に出合う市道平松中野道線の拡幅工事に向けて設計に入り、来年度から着</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		3 森のステーションかめおかについて	<p>工と聞くが、工事の概要は。</p> <p>(2) 国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区本梅工区が着工となったが、府道天王亀岡線も並行して整備するのか。</p> <p>(3) ふるさとバスが運動公園ターミナルで乗換えとなっているが、その後京阪京都交通との話し合いはどうなっているのか。</p> <p>国の地方創生交付金を活用して、10月22日にオープンした亀岡市交流会館「森のステーションかめおか」について問う。</p> <p>(1) この施設の目指すものは。</p> <p>(2) 地域との連携は取れているのか。</p> <p>(3) オープン後のにぎわいは。</p> <p>(4) 12月から来年3月まで工事に入ると聞かすが、工事の内容は。又その財源は。</p> <p>(5) 今後、市との関わりは。</p>	市長 所管部長
11	田中 豊 12月14日(水) 14:00～ 一問一答	1 「部落差別の解消の推進に関する法律案」について	<p>「部落差別の解消の推進に関する法律案」が参議院で審議されている。去る9月定例会で質問したが、さらに内容を深める立場から国会での審議状況も踏まえて、以下の諸点を問う。</p> <p>(1) 「部落差別」とは何か。</p> <p>(2) 「部落差別の解消」とはどういう状態を言うのか。</p> <p>(3) 法律案の「存在する部落差別」は、誰が誰に対してどのような行為を行い、その結果、誰が誰に対して何を認定するものか。</p> <p>(4) 昭和61年1月27日、自由民主党政務調査会は、政発1号「部落解放基本法制定要求の取扱いについて」において、「現在、一部民間運動団体等により部落解放基本法制定に対する署名の協力要請が展開されており、部落差別の解消を目的とした法律を基本法として制定することは、その被差別対象地域及び住民を法的に固定化させるという、極めて重大な政治的、社会的結果を惹起する恐れがあり、(中略)署名要求等に対しては一切行わないよう」と述べているが、これに対する所見は。</p> <p>(5) 大阪府は、「対象地域における部落差別の影響の把握について」において、「対象地域の所在地名は大阪府個人情報保護条例において、社会的差別の原因となる恐れのある個人情報として取扱われており、原則として収集禁止とされているほか、個人情報の外部への提供が原則として禁止されている。</p> <p>特別対策としての同和対策事業が終了した現在においては、調査対象者に対して、居住地が対象地域であることを教示し、対象地域出身者であるか否か、差別体験があるか否かとのセンシティブな情報を収集する調査を実施することは困難である。また、大阪府</p>	市長 所管部長

		<p>部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例では、興信所、探偵社業者及び土地調査等を行う者に対して対象地域に関する調査・報告を規制している。(中略)規制当局である大阪府が行うことは不適切である。」と立場を明らかにしているが、所見は。</p> <p>(6) 法案第6条(部落差別の実態に関わる調査)は、「地方公共団体の協力を得て、部落差別の実態に係る調査を行うものとする」と規定しているが、「実態調査」自体が重大な人権侵害や新たな差別を生む危険性があると考えるが、所見は。</p> <p>(7) 「部落差別の固定化」につながる本法案に反対するとともに具体化をさせないことについて、所見は。</p>	<p>安倍政権は、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)承認案と関連法案の衆議院での採決を強行し、参議院でも審議を急いでいる。</p> <p>(1) TPPの批准が発効する仕組みは。</p> <p>(2) TPPの発効が見通せない事態になっているが、所見は。</p> <p>(3) 批准を急ぐ理由はないと考えるが、所見は。</p> <p>(4) 協定そのものの多国籍企業優遇、農業、食の安全、医療、労働、地域経済などへの影響、投資家対国家紛争解決(ISDS)条項など問題点が明らかになってきている。国、国会に対して廃案を求めるべきと考えるが、所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 TPPについて</p>	<p>東本梅保育所の統廃合について</p>	<p>東本梅保育所の統廃合について、去る10月15日に東本梅町自治会で説明会が開かれた。</p> <p>(1) 住民側の出席者数は。</p> <p>(2) 住民側から出された意見の内容は。</p> <p>(3) 統廃合に反対という意見数は。</p> <p>(4) 統廃合に賛成という意見数は。</p> <p>(5) 住民の意見をどう受け止めているのか。</p> <p>(6) 市の子育て支援策と「統廃合」の整合性は。</p> <p>(7) 市の「まちづくり」と「統廃合」の整合性は。</p> <p>(8) 地域を維持していくための機能としての保育所を考えていく必要があるのではないかと。</p> <p>(9) 保護者や地域住民の合意抜きで拙速な「統廃合」を行うべきではないと考えるが、所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>3 東本梅保育所の統廃合について</p>	<p>4 天川の産業廃棄物について</p>	<p>私が、この問題について初めて質問したのが平成12年12月であった。それから16年が経過しているが、現場の状況に大きな変化はない。具体的な解決策を問う。</p> <p>(1) この問題の行政責任をどう考えているのか。</p> <p>(2) この間の取組みは。</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>(3) 具体的な解決策は。</p> <p>(4) 解決の目途は。</p>	
12	<p>木曾 利廣 12月14日(水) 15:00 ~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 河川事業について</p> <p>2 京都スタジアム(仮称)建設について</p>	<p>9月定例会での質問以降の新たな問題点について問う。記録的豪雨となった平成25年9月の台風18号の浸水被害対策は現在実施され、河道掘削を大幅に前倒しして、平成31年度をめどに京都市内の桂川緊急治水対策事業が170億円をかけて推進されている。事業効果と、平成28年度を含む今後の桂川(保津工区)での台風18号緊急対策を問う。</p> <p>(1) 嵐山より下流域の井堰の撤去を含む事業の進捗について問う。</p> <p>(2) 台風18号で同じく浸水被害にあった亀岡市域の平成28年度の治水安全対策事業の具体内容を問う。</p> <p>(3) 桂川の治水対策は上流・下流のバランスの中で事業推進が行われているが、本当にどの地域も治水対策が進んでいるのか。</p> <p>(4) 桂川改修(保津工区)の事業推進は暫定計画ステップ1が完了したとあるが、ステップ2「霞堤の嵩上げ」まで進めるためには、大井町自治会の要望である、桂川の本川堤防の強靱化が必要だと考えるが、本市の考えは。</p> <p>(5) 9月定例会で、桂川本川の堆積土砂の撤去が喫緊の課題であり、府は限られた予算であるが緊急治水対策として進めるとともに、現在は河川管理の指導要綱で中止されている民間の砂利採取業者による堆積土砂の撤去の復活が望まれると述べた。そのことを要請していきたいとの答弁があったが、その後の府の回答は。</p> <p>平成28年4月、環境保全専門家会議の座長提言を受けて京都スタジアム(仮称)の建設予定地の変更をしようとしているが、再度課題は何か尋ねる。環境アセス(騒音・景観)、交通インフラ(道路整備)、経済効果の再度見直し、財源内容の変更による、将来の負担増はあるのか。また、血税で既に14億円で購入した公園用地の活用実施計画は、いつ公表するのか問う。</p> <p>(1) 場所変更による環境問題で、騒音・景観に対する地元住民への説明会はいつ行われるのか。</p> <p>(2) 場所変更による交通アクセスの整備と混雑緩和に対する周辺住民説明(市民協力)の考えは。</p> <p>(3) 場所変更による経済効果はどのように変更になったのか、早急に試算すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 亀岡市が多くの土地を購入したことにより、固定資産税(土地・建物・設備等)の税収が将来にわたり減少することを心配する</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 学校規模適正化問題について</p>	<p>声もあるがどうか。</p> <p>(5) 9月定例会でも質問したが、財源内訳が変更になり、市民に大分の負担増となれば、理事者、議会の覚悟が必要になるのではと考えるが、再度伺う。</p> <p>(6) 推進要請があった各種団体にも市財政の厳しい状況をつぶさに報告し、支援いただく市民に支援金の募金要請をしてはと質問したが、推進団体に要請したのか伺う。(京都府も現在20億円の一般寄付を要請されていると聞くがどうか。)</p> <p>(7) 京都府はスタジアム建設工事費を130億円以下とした実施設計業務の委託候補者を選定したと聞くが、亀岡市への支援も含め、予算計上がいつの時点で確定するのか。(亀岡市が新たな土地を購入するまでに)</p> <p>(8) 変更によって、亀岡市の負担総額は50億円(国・府補助を含む)を上限とすると栗山前市長や桂川市長は本会議で答弁されていたが守れるのか。</p> <p>(9) 既に14億円で購入した公園用地の活用実施計画は、いつ公表するのか。</p> <p>現在、学校規模適正化が市内各地で教育委員会の指導のもと進められているが、該当する地域での説明会について、各地域で不満が出ている。幾度となく改善するように助言するも聞く耳を持たず、このままでは学校・保護者・地域の混乱を招くと考えるが教育委員会の基本的な考えを問う。</p> <p>(1) (地域によっては)通学変更ありきで、期間も平成30年度から実施するかのような一方的な説明ではなく、それぞれの地域事情や学校の考え方など、今までの経過を理解して最善策を提言すべきであると考えが教育委員会の考えは。</p> <p>(2) 説明会に参加した人を反対者とみなし、強引に進めようとしていることに対する教育委員会の考えは。</p> <p>(3) 校区変更の話題が子どもたちの人間関係まで毀損しないか、また、いじめの原因とならないか、登校拒否をも心配する保護者もいる。教育委員会の考えは。</p> <p>(4) 安全安心の通学路確保を心配する保護者もおられるが、教育委員会の考えは。</p>	<p>教育長 所管部長</p>
13	<p>小川 克己 12月14日(水) 15:45~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 職員力の向上について</p>	<p>市民ニーズが多様化する中、本市職員の人材育成の取組みについて問う。</p> <p>(1) 今年度、職員採用試験について、従来的一般試験方式にチャレンジ方式を加え、2つの区分にされたが、その目的と成果は。</p> <p>(2) 専門職も含めた採用予定者数(見込)と区分別試験の結果は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>険事業について</p> <p>4 病院事業について</p>	<p>た「医療保険制度改革関連法(持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律)が平成30年4月から施行される。医療費を抑制しやすい仕組みに向けた国民健康保険制度改革と言われている。</p> <p>(1)これまでと比較して保険法の一部がどのように変わる制度なのか。</p> <p>(2)保険料がアップするのではないかと危惧されるがどうか。</p> <p>(3)滞納世帯への収納強化が行われるのではないか。</p> <p>(4)高額介護合算療養費制度の周知等はどのように行われているのか。実態はどうか。</p> <p>8月23日第1回亀岡市立病院経営審議会が開催され、以後議論が進められてきた。市民の強い要望で建設された病院であり、地域になくてはならない病院にするためにも一層の努力が求められる。</p> <p>(1)医師の確保は十分か。</p> <p>(2)病院へのアクセスが不十分と感じる。各駅を中心としたバス運行の計画はどうか。</p> <p>(3)地域包括ケア病床数の増加はなぜか。急性期を減らす理由は何か。</p> <p>(4)「亀岡市立病院新改革プラン(素案)」の「(5)経営形態に関する市立病院の方針について」の考えは。</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 病院事業管理者</p>
15	<p>竹田 幸生 12月15日(木) 10:45~ 一問一答</p>	<p>1 学校規模適正化・公立保育所再編整備における事業推進のあり方について</p> <p>2 通学路の安全について</p> <p>3 避難所について</p>	<p>事業推進にあたり、計画に基づき進めることは当然であるが、言うまでもなく当該地域、市民に慎重かつ丁寧に説明を行い、一定の理解を得ることが必要である。特に球技専用スタジアム、埋立処分場、火葬場、学校規模適正化及び公立保育所再編整備等があるが、学校規模適正化・公立保育所再編整備について、考え方を問う。</p> <p>(1)これまでの事業推進の考え方は。</p> <p>(2)今後の事業推進の考え方は。</p> <p>通学路の安全確保は部分的なハード面だけに対応するのではなく、地域全体を考え、行政組織の横断的な取組みが必要と考える。</p> <p>(1)横断的な取組みとしてどのような事例があるか。</p> <p>(2)自治会を中心とした通学路(通学地域全体)に対して、今まで以上に行政の全庁横断的な取組みが必要と認識しているのか。</p> <p>災害時の避難所について、国から「避難所運営ガイドライン」が示されているが、その中に「情報の取得・管理・共有」の項目があり、具体的な整備が求められる。</p> <p>(1)本市の整備状況はどうか。</p> <p>(2)民間との連携はどのような状況か。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>所管部長</p>

		<p>4 子育て支援について</p> <p>5 介護保険制度について</p> <p>6 JR千代川駅送迎車両待機スペースについて</p> <p>7 府道宮前千歳線千原交差点改良について</p>	<p>(3) 実際の運用事例はどのようなものがあるか。</p> <p>子育て世代包括支援センターが10月に府内初の公設民営方式で設置され、子育て支援の充実が図られた。</p> <p>(1) 子育て支援事業で今までに公設民営方式の状況は。</p> <p>(2) 障害者支援事業で今までに公設民営方式の状況は。</p> <p>(3) 高齢者支援事業で今までに公設民営方式の状況は。</p> <p>産後うつ予防検診費助成費制度が平成29年度から予定され、希望する自治体で取組みができる。</p> <p>(4) どのような内容か。</p> <p>(5) 本市の事業取組みの方向性はどうか。</p> <p>介護予防・日常生活支援総合事業実施が平成29年4月から新たに始まる。</p> <p>(1) 本市の進捗状況は。</p> <p>(2) 4月開始時点の受け皿として、事業所は何パーセント確保できる見通しか。</p> <p>送迎車両待機スペースの改修の方向性が決められ、より利便性向上の期待がされている。</p> <p>(1) 改修の進捗状況は。</p> <p>(2) 今後の計画の告知が必要ではないか。</p> <p>交差点改良による車両渋滞解消に向けた計画が示され、早期の完成が望まれている。</p> <p>(1) これまでの経過は。</p> <p>(2) 現状はどうか。</p> <p>(3) 今後の方向性はどうか。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
16	<p>小島 義秀 12月15日(木) 11:30~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 市民の健康増進について</p> <p>2 市の広報について</p>	<p>第10回記念京都体操祭兼第19回かめおか体操祭等への積極的な取組みがもたらす市民の健康長寿への効果について問う。</p> <p>(1) 第1回京都体操祭、第10回かめおか体操祭から今回の開催までの参加者数の変化は。</p> <p>(2) 参加団体の構成は。</p> <p>(3) 市民への効果はどのように考えているのか。</p> <p>(4) セーフコミュニティ同様、データを収集し検証しているのか。</p> <p>(5) 来年の開催に向けての取組みは。</p> <p>毎月1、15日発行のキラリ亀岡おしらせ版、またはホームページ、フェイスブックなどによる市民サービスの各種情報の広報について問う。</p> <p>(1) 市民サービスの各種情報を漏れなく広報できていると思っているのか。</p> <p>(2) フェイスブックによる広報活動の方向性</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 「森の京都」の取組みについて</p> <p>4 観光行政について</p>	<p>は。</p> <p>京都府の地域振興策として「海の京都」に続き「森の京都」事業を進めているが、それに基づく本市の取組みを問う。</p> <p>(1) 「海の京都」を見て効果をどう評価するのか。</p> <p>(2) 「森の京都」としての現在における効果はどうであるのか。</p> <p>(3) 「森の京都DMO」の方向性について森の京都DMOとは。既に設置されている他のDMOについての情報は。森の京都DMO設立に向けての本市の取組みは。森の京都DMOが本市にもたらす効果は。</p> <p>京都府の12月定例会で国の第2次補正予算を活用した緊急経済対策の中に、スマートフォン向けゲーム「ポケモンGO」を活用した観光誘客事業を進めると発表されている。それに対し本市の考えを問う。</p> <p>(1) 「ポケモンGO」は観光誘客事業に役立つと考えられるか。</p> <p>(2) 他府県の観光誘客事業はどうであるのか。</p> <p>(3) 京都府内における取組みは。</p> <p>(4) 本市の考えは。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
17	<p>菱田 光紀 12月15日(木) 13:15～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 新規就農者の育成と情報発信について</p> <p>2 農業公園の活用策について</p>	<p>亀岡市には、多くのイターン、Uターンによる新規就農者が集まっている。新規就農者を亀岡農業の起爆剤ととらえ育てていかなければならない。一方で多種多様な社会経験を持つ彼らへの支援とともに新たな亀岡農業の発信につなげるべきだ。</p> <p>(1) 新規就農者の定着状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) 新規就農者への就農支援策の現状はどうか。</p> <p>(3) 新規就農者への技術指導や相互交流はどのようになされているのか。</p> <p>(4) 新規就農者を育成、指導している農家への支援はどうなっているのか。</p> <p>(5) 新規就農者から土づくりのために良い堆肥を作ってほしいという要望がある。間伐材や街路樹などを活用した新たな取組みができないか。</p> <p>(6) 亀岡農業の素晴らしさをどのように発信しているのか。SNSなどを活用して農家も参加した新たな取組みができないか。</p> <p>今定例会に亀岡市農業公園の管理について新たな取組みが提案されている。農業体験や販売など亀岡ならではの取組み拠点として活用すべき</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 防災監視を兼ねた雲海カメラの設置について</p> <p>4 生涯学習と市民活動について</p>	<p>である。</p> <p>(1) 従前の活用状況はどうであったのか。</p> <p>(2) 今後、農業公園の指定管理を土づくりセンターから切り離すことによって、どのような事業効果が見込めるのか。</p> <p>(3) 例えば、春夏秋冬の季節ごとに農業祭を開催し、広く市民に亀岡農業に親んでもらうとともに、農産物の品評会などを開催し、農家の交流とレベルアップにつなげてはどうか。</p> <p>今年も丹波名物の朝霧に包まれる季節がやってきた。普段は防災監視カメラとして活用し、朝霧の出る季節には、そこに行けなくてもライブで世界中から雲海が楽しめるようにすべきである。</p> <p>(1) 亀岡市の防災監視体制は、どうなっているのか。</p> <p>(2) 雲海をライブ発信することについてどうか。</p> <p>亀岡市が全国に先駆け、昭和63年3月30日に「生涯学習都市」宣言を行って間もなく30年を迎える。ガレリアかめおかは、亀岡会館等の機能を受け継ぎながらその拠点施設として大いに活用されている。</p> <p>一方、生涯学習に関わる多くの団体は、市民力によって運営されてきている。</p> <p>(1) ガレリアかめおかの活用状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) 公益財団法人生涯学習かめおか財団によるガレリアかめおかの指定管理の状況は。</p> <p>(3) ガレリアかめおか3階にある市民活動センターの利用状況と生涯学習活動との連携はどうなっているのか。</p> <p>(4) 財団が発行する「ガレリアニュース」を見ると市民活動推進センターとの連携が取れていないように思うがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
18	<p>齊藤 一義 12月15日(木) 14:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 本市の資源利活用について</p>	<p>このたび、内閣府や農林水産省・環境省など関係7府省が共同で推進している「バイオマス産業都市」の一つに、京丹波町が選ばれた。各省庁のバイオマス関連補助制度を優先的に受けられる。木質バイオマスストーブ・乳用牛のふん尿からのバイオマス発電などで、経済波及効果は7.7億円と言われている。本市においても多様な資源がある中、バイオマスに関して質問する。</p> <p>(1) 年谷浄化センターにおいて、汚泥バイオガスの発生はあるか。</p> <p>(2) 発生があるならば、汚泥バイオガスの現在の処理方法は。</p> <p>(3) 本市の資源といえるバイオガスの利活用として「バイオガス発電」に取組み、本市公共施設の電気料金軽減に取組む考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>

	2 住みたい街 亀岡について	<p>このたび、本市では10月より空き家バンクが創設されたが、本市の人口増・定住促進に向けてさらなる拡充施策が必要と考える。</p> <p>(1) 空き家バンクのさらなる利活用のため、「定住お試しプラン」を追加してはどうか。</p> <p>(2) 新規就農者に定住していただき、安定した農業従事者になっていただくためにも「新規就農住マイルプラン」などを策定し、担い手と人口増を目指してはどうか。</p>	市長 所管部長
	3 本市の観光 について	<p>本市は三大観光を目玉としているが、京都市内や府下の観光地と比べ観光消費額の伸びが非常に弱く、経済波及効果が薄いと考える。京都府が調査発表している「平成27年観光入込客及び観光消費額について」から原因と対策を問う。</p> <p>(1) 府内観光地入込客数ランキング(京都市除く)にみられるように、各観光地は着地型であるが、3位に入っている「トロッコ列車」は移動型である。お客様の消費地の比重はどこであると考えるか。</p> <p>(2) 注目すべきは2位の「太陽が丘」、9位の「けいはんな記念公園」、10位の「府立宇治公園」及び17位の「淀川河川公園背割堤地区」である。これをみてどう考えるか。</p> <p>(3) 花と緑の専門家・知識人である桂川市長に、京都・亀岡保津川公園を自然あふれる一大観光拠点として作り上げてもらいたいが、考えは。</p>	市長 所管部長
	4 改正農業委員会法について	<p>平成28年4月1日に改正農業委員会法が施行され、本市においても新たな農業委員会制度が始まる。</p> <p>(1) 農業委員会制度改正による農業資格者の条件緩和は。</p> <p>(2) 農業委員は市町村長の任命制になるが、新たに設けられる「農地利用最適化推進委員」の役割は。</p> <p>(3) 農業の発展・農地の健全な保全には公正・公平に判断できる方が必要である。全国的にも女性経営者や女性従事者の多い農業法人の成功例が多いことから、各委員に女性を多用されてはと考えるがどうか。</p>	市長 農業委員会会長 所管部長
	5 治水対策について	<p>本市の歴史は水の恵みでもあるが、水害に悩まされてきたことも事実であり、様々な治水対策の活動が行われてきた。日吉ダムにより一定の効果はあるものの、市民の危機感は拭えない現状である。</p> <p>(1) 桂川放水トンネルを要望し、万全な治水対策の考えは。</p> <p>(2) 「平成27年度国土交通省白書」によると、「首都圏外郭放水路」の治水対策・経済効果</p>	市長 担当部長

			は歴然である、本市の発展を願うならば要望していきべきと考えるが所見は。	
19	酒井安紀子 12月15日(木) 15:00～ 一問一答	1 スタジアムに関する市民意識について 2 公会計導入のための準備について	1 1月にはスタジアムに関して初めての市民向け説明会が開催された。スタジアムに関する市民の問題意識の一端が明らかになった。 (1) 今後、どのようにそれらと向き合っていくか。 (2) 具体的な根拠を示して説明する必要があるのではないか。 (3) さらなる意見交換の場が必要ではないか。 来年度までに公会計制度による財務諸表の整備をするとの予定が示されていた。 (1) 公会計の前提となる固定資産台帳の整備状況は。 公会計の利活用には簿記の仕組みを理解することが重要である。 (2) 現在どの程度の職員が簿記の知識を有しているか。簿記に関する資格の取得率は。 (3) 習得を支援する仕組みを整える考えは。	市長 所管部長
20	湊 泰孝 12月15日(木) 15:45～ 一問一答	1 歳入確保について 2 若宮工場(し尿処理場)について 3 南丹地域商業ガイドライン及び亀岡市の取組みについて	亀岡市では、ビール大麦をキリンビールとの契約栽培により出荷している。 アサヒビールでは、地域共生型の営業活動として、「美しい日本に乾杯！～うまい！を明日へ！プロジェクト～」等を展開し、「アサヒスーパードライ」をご当地ビールとして、売上げ1本につき1円を地域ごとに設定した自然や環境、文化財などの保護・保全活動、また、地域振興に役立てる取組みをされている。同プロジェクトによる2009年からの累計寄付金総額は約24億円となっている。 (1) 亀岡市でも近隣自治体との連携の中で、そのような取組みへの参画を検討してはどうか。 現在、公共下水道や農業集落排水などの普及により、し尿処理量も減少している中で、現処理場の稼働も乾燥処理までとなっており、以前から市の方向性として、年谷浄化センターへの統合処理を検討されてきた経緯がある。 (1) 地元説明の中でも以前から移設についての説明を受けてきたが進捗状況は。 (2) 跡地利用の考えは。 土地区画整理事業用地での大型店の進出や、市外から進出された飲食・物販店舗が多く立地する現況から、地域とのかかわり方について一定のルールを設けておく必要性を感じる。 (1) ガイドラインでは特定大規模小売店舗を誘導するエリアとして亀岡市では6箇所あるが現状は。	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長

		<p>4 桂川改修及び治水対策について</p>	<p>(2) 進出企業に求める地域貢献策は。 (3) 進出企業に求める地元企業への協力や貢献などの制約は。</p> <p>桂川改修については、保津橋下流部において整備が進められている。協議会等におかれても、毎年、関係機関へ強い要望活動が実施されている。過去から水害被害が絶えない大井町自治会や地域関係機関からも、宇津根橋上流においての早期改修整備への要望が亀岡市及び京都府へ行われているが、亀岡市の姿勢と今後の対策について問う。</p> <p>(1) 宇津根橋上流の桂川の状況把握は。 (2) 堆積土砂の浚渫は。 (3) 堤防改修の計画は。 (4) 願成寺川の改修は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	-------------------------	--	--------------------